

# 令和4年度事業報告

本会は、全国の地先沿岸海域において発生する船舶海難や海浜事故の救助活動をボランティアで展開するために、全国各地に設立されている民間の地方水難救済組織を統括的に支援する公益社団法人であり、地方水難救済組織による水難救済事業をはじめとする各種事業の活性化及び事業執行体制の基盤整備を支援している。

また、洋上の船舶において発生した傷病者を対象とする救急医療サービスを提供するために海運・漁業・医療等の民間関係団体や海上保安庁等の海難救助関係機関の連携協力によって導入された世界唯一の洋上救急体制の維持運営を推進している。

## I 実施した事業の概要

本会では、最近の水難事故や自然災害の発生時における公的機関や民間組織による対応体制の実情などを勘案し、公的関係機関による水難救助活動や災害救援活動を補完するため、地方水難救済組織によるボランティアでの水難救済活動や災害救援活動を支援し、かつ、その充実強化を図っている。

また、海上保安庁をはじめとする関係機関や民間団体等の支援を得ながら、全国各地における洋上救急体制を維持運営している。

これらの目的のため、令和4年度は次のような各種事業を実施した。

### ・水難救済に関する事業

水難救済活動（災害発生時における救援活動を含む。）に参画する団体、又は個人に対する支援（研修・訓練を含む。）に関する事業

### ・洋上救急に関する事業

洋上の船舶等で重篤な傷病者が発生した際の医師・看護師の派遣による洋上救急医療体制の維持運営に関する事業

### ・水難救済思想の普及啓蒙に関する事業

広く国民を対象とした水難救済思想の普及啓蒙に関する事業

### ・青い羽根募金に関する事業

全国各地の地方水難救済会に所属するボランティア救助員による水難救済活動に使用する救難資器材の整備等に必要な資金を確保するための募金事業

以上のほか、地先沿岸海域における搜索救助の拠点となる救難所等の整備をはじめ、ボランティア救助員の増強や若返りのためのリクルート、地方組織の法人化等の事業推進基盤の強化を支援するとともに救難所員等の扶助・補償等を行うことにより、事業執行体制の充実整備と地方組織の活性化を図っている。

また、自然災害発生時には積極的に救援活動を行うとともに、国・地方自治体等が主催する災害対応訓練に積極的に参加することにより、地方水難救済会による役割の重要性について関係者の理解を深めてもらい、国と地方自治体からの活動支援を得るべく努めている。

## II 事業執行体制の充実整備と地方組織の活性化のための具体策

### 1 地方組織の活性化の推進

本会では、組織の活性化、組織の健全化を目的とした組織改変整備を進めているが、最近の海難の発生・救助状況を踏まえ、全国規模でのボランティア海難救助を効果的に推進するため、従前からの漁船海難等の海難救助を主たる対象とした救難拠点のみならず、各種マリレジャー等に伴う遭難事故を対象とした救難拠点整備を積極的に進めている。

#### (1) 令和4年度に新設された救難所等

設置年月日	水救会名	救難所名	支所名
令和4年4月18日	琉球	豊崎海浜公園	
令和4年4月23日	〃	瀬底ビーチ	
令和4年5月1日	愛知県	(伊勢湾東部海難救助連絡協議会)	伊勢湾北部
令和4年7月12日	香川県	さぬき市	
令和4年9月9日	琉球	KIN サライズビーチ海浜公園	
〃	〃	宇堅ビーチ	
令和4年10月24日	〃	Halelea(ハレレア)	
令和4年12月1日	愛知県	三河湾西部地区	
〃	〃	(三河湾西部地区)	西三河漁業協同組合
〃	〃	〃	衣崎漁業協同組合
〃	〃	〃	吉田漁業協同組合
〃	〃	〃	東幡豆漁業協同組合
〃	〃	〃	大浜漁業協同組合
〃	〃	〃	幡豆漁業協同組合
計	〃	7か所	7か所

注1) 公益社団法人琉球水難救済会は、沖縄県豊見城市に所在する豊崎海浜公園の指定管理者が「オリオンECO美らSUNビーチ」周辺海域で発生する水難事故に対処するため、新たに当該ビーチを拠点とした救難所を豊崎海浜公園内管理事務所内に設置。

注2) 公益社団法人琉球水難救済会は、沖縄県国頭郡本部町瀬底島に所在する瀬底ビーチ周辺海域で発生する水難事故に対処するため、新たに瀬底ビーチ管理事務所内に救難所を設置。

注3) 愛知県水難救済会は、伊勢湾東部地区救難所救難所に一度4月1日に解散となった伊勢湾北部支所を再編し、伊勢湾北部周辺海域で発生する水難事故に対処するため、新たに支所を設置。

注4) 香川県水難救済会は、香川県さぬき市周辺海域で発生する水難事故に対処するため、新たにさぬき市漁業協同組合内に救難所を設置。

注5) 公益社団法人琉球水難救済会は、沖縄県国頭郡金武町に所在するKIN サライズビーチ海浜公園の指定管理者が「KIN サライズビーチ海浜公園」周辺海域で発生する水難事故に対処するため、新た

に当該ビーチを拠点とした救難所を当該公園の指定管理者である一般社団法人金武町観光協会内事務所に救難所を設置。

注6) 公益社団法人琉球水難救済会は、沖縄県うるま市に所在する宇堅ビーチの指定管理者が「宇堅ビーチ」周辺海域で発生する水難事故に対処するため、新たに当該ビーチを拠点とした救難所を当該公園の指定管理者である株式会社丸将が宇堅ビーチ管理事務所内に救難所を設置。

注7) 公益社団法人琉球水難救済会は、武富島周辺及び石垣市米原地区周辺海域で発生する水難事故に対処するため、新たに石垣市浜崎町に拠点を構え、同地区で海洋レジャー事業を展開している俣シンフォニーユニバース・Haleleaの事務所に救難所を設置。

注8) 愛知県水難救済会三河湾西部地区救難所は、三河湾西部海域での迅速な海難救助体制構築を図るため新たに西三河漁業協同組合内に救難所を設置。

また、同海域においてそれぞれ海域を分担して水難事故に対処するため、西三河、衣崎、吉田、東幡豆、大浜、幡豆のそれぞれの漁業協同組合に合計6支所を設置。

## (2) 令和4年度に廃止された救難所等

廃止年月日	水救会名	救難所名	支所名
令和4年4月1日	愛知県	(伊勢湾東部海難救助連絡協議会)	伊勢湾北部
令和4年5月26日	能登	中島	
令和4年9月16日	三重県	(伊勢湾北中部海難救助連絡協議会)	木曾崎
令和5年3月31日	〃	(鳥羽・伊勢地区海難救助連絡協議会)	鳥羽釣船乗合乗合船協同組合
〃	長崎県	多良見町	
〃	〃	川棚	
〃	宮崎県	栄松漁業協同組合	
計		4か所	3か所

注1) 愛知県水難救済会伊勢湾東部海難救助連絡協議会伊勢湾北部救難支所の廃止は、支所長、副支所長とも病气入院中、他の救助員も高齢化によるもの。

注2) 能登水難救済会中島救難所の廃止は、活動継続が困難との所長からの申し出によるもの。

注3) (特)長崎県水難救済会多良見町救難所及び川棚救難所は、漁業協同組合の吸収合併により、大村湾救難所が吸収し、令和5年4月1日から多良見町救難支所及び川棚救難支所に変更存続となる。

注4) 宮崎県水難救済会栄松漁協救難所の廃止は、法廷解散になったことによるもの。

## (3) 令和4年度に名称変更された救難所等

変更年月日	水救会名	旧名称	新名称
令和4年4月1日	琉球	恩納村ダイビング協会 救難所	一般社団法人恩納村マリ ンレジャー協会救難所

## (4) 令和4年度末現在の救難所及び支所の数

救難所 792箇所(789)

支所 533箇所(529)

## (5) 令和4年度末現在のボランティア救助員の数

48,274名(49,320名)

注) ( )書きは令和3年度末現在

## 2 水難救済に関する事業

令和4年における救助出動件数は292(319)件で、延べ331(352)か所の救難所等から延べ1,954(2,499)名の救難所員及び協力者726(561)名が出動し、301(313)名の遭難者と111(126)隻の船舶を救助しており、救助した船体及び積荷の見積評価額は約2千5百万円(約1億3千万円)であった。

注) ( )書きは令和3年末の実績

また、救助出動に備え、ボランティア救助員に対する所要の訓練及び救難資機材の整備等を実施した。

注1) 海難救助及び出動実績総括表は附属明細書1のとおり

注2) 救難所別海難救助実績は附属明細書2のとおり

### (1) 海難救助出動報奨金の交付等

公益財団法人日本財団の助成金、日本漁船保険組合及び全国漁業協同組合連合会からの補助金等により、海難救助に出動した全国316(358)救難所等のボランティア救助員1,749(2,496)名に対し、救助出動報奨金を交付した。

注) ( )書きは令和3年度末の実績

事業費総額 16,415,741円

### (2) 海難救助訓練の実施

救難所員の出動時の安全確保、救難技術の向上及び士気の高揚を図り、かつ効果的な海難救助活動に資するため、海上保安部署等と連携して所員に対し、救難用資器材の点検・取扱い要領及び心肺蘇生法等の基礎訓練並びに漂流者揚収訓練等の応用訓練等を実施した。

また、地震・津波災害等の発生に備え、国・地方自治体が主催する災害対応訓練へも積極的に参加することとしている。

本会では、これらの海難救助及び災害対応訓練に参加した地方水難救済会に対し、訓練の実施状況等を勘案し、会議費及び地方組織支援費を交付した。

なお、各地方水難救済会では、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染防止に最大限配慮しつつ、かかる活動を最大限実施しようという強い意志のもと、本年度は地方水難救済会23(22)か所において海難救助訓練を実施した。

事業費総額 4, 326, 251円

[実地訓練等の実施状況]

区 分	実 地 訓 練	うち地方自治体との合同防災訓練
対象救難所等の数	88か所(64か所)	11か所(11か所)
参加人数	1,021名(919名)	89名(71名)

注) ( )書きは令和3年度の実績

(3) 人命救助訓練奨励金の交付

公益財団法人日本海事センター(旧日本海事財団)から交付された人命救助訓練奨励基金(1億円)の運用益等により、人命救助訓練に参加した救難所員818名に対し訓練奨励金を交付した。

事業費総額 4, 552, 771円

(4) 救難体制の整備

海難事故や自然災害への救助、支援要請に対し、迅速、かつ、的確に対応できる救助体制の充実を図るため、引き続き、老朽化した救難資器材の整備を次のとおり整備した。

事業費総額 15, 313, 271円

品 目	規 格	数 量
安全帽	水難救済会のマーク・名入り	15個
救命胴衣(固定式)	NS-SLVI	31着
救命胴衣(膨張式)	NS-7000	95着
救急セット	応急医療具ABセット	20式
救命浮環	NS-39II	11個
消防兼排水ポンプ	トーハツ VE20A	3台

(5) 海難救助に功労のあった者等の表彰に関する事業

海難救助表彰を次のとおり実施した。

事業費総額 6, 692, 927円

<令和4年度表彰実績>

### ① 名誉総裁表彰

令和4年6月7日、名誉総裁高円宮妃殿下ご台臨のもと、名誉総裁表彰式典を挙行し、海難救助などに極めて抜群の功労あった団体について表彰を行った。

イ 海難救助功勞	1 件 (団体)
ロ 洋上救急功勞	2 件 (団体)

### ② 会長表彰

・海難救助功勞	
(1) 救助功勞	2 2 件 (個人 8 名、団体 1 4 件)
(2) 救助出動回数功勞	2 7 件 (個人)
(3) 勤続功勞	2 2 5 件 (個人)
(4) 永年従事功勞	2 1 件 (個人)
・洋上救急功勞	5 件 (個人 2 名、団体 3 件)
・事業功勞	5 7 件 (個人 1 3 名、団体 4 4 件)

(参考) その他表彰事業費を使用した経費

洋上救急事業	1 6 3, 5 1 5 円
青い羽根募金事業	1 5 8, 6 0 0 円

## 3 洋上救急に関する事業

本事業に関する全国健康保険協会からの受託金のほか、公益財団法人 日本海事センター、その他海事・漁業関係団体からの助成金等及び拠出金並びに受益船主からの負担金等を得て、洋上にある船舶内で緊急に医師による医療措置を必要とする傷病者が発生した場合、医師等の同乗する海上保安庁又は自衛隊の船艇・航空機を現場に急行させ、傷病者に対する救急医療を施しつつ、最寄りの病院まで緊急搬送するという洋上救急活動を実施するとともに、こうした洋上救急活動に出動する可能性のある医師等を対象とした慣熟訓練等を行った。

なお、令和4年度の洋上救急出動件数は14件で、昭和60年10月洋上救急制度発足以来の累計件数は967件、救助人数は1,000人となった。(広報実施済)

事業費総額 25, 575, 499円

## 4 水難救済思想の普及啓蒙に関する事業

本会及び地方水難救済会が実施している各種水難救済事業について、各種広報媒体を活用し、海事・漁業関係者のみならず、広く一般国民の理解と協力の醸成、拡大を図っている。

また、救助員その他海上安全に関係する他の民間関係団体等との連携強化を図りつつ、船舶海難や海浜事故の未然防止活動及び水難救助に関する知識技能の普及啓蒙に努めている。

このため、各地域社会の実情に応じ、新型コロナウイルス感染防止に最大限配慮しながら広く一般市民を対象に、実際に役立つ「海の安全教室」を開催し、水難救済ボランティア思想の普及啓蒙に努めている。

令和4年度、各地方水難救済会では、昨年を引き続き、新型コロナウイルス感染防止に最大限配慮しつつ、かかる活動を最大限実施しようという強い意志のもと「海の安全教室」を40教室開催し、3,890人が受講した。

さらに、当会の活動を広く一般市民に伝え、水難救助思想の普及を図るとともに全国の民間ボランティア救助員の士気高揚を図るため、令和4年2月から、本会のTwitterを開始し、令和4年度末で約650名の登録人数(フォロワー)となった。

事業費総額 4,386,814円

#### 5 青い羽根募金に関する事業

7月、8月の2ヶ月間を「青い羽根募金強調運動期間」として、国土交通省、海上保安庁、消防庁及び水産庁の後援を得て、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しつつ、全国的な募金活動を展開した。

その結果、本会では17,780,910円の寄附金を得て、水難救済にかかる各種事業に活用するとともに、青い羽根募金用ポスター等の作成及び地方組織による募金活動に対する支援等の事業を実施した。

さらに、民間企業等の協力のもと青い羽根募金支援自動販売機の増設に努めた。

なお、4月に発生した知床観光船事故に関連し、当該事故に出動した救助員への支援のためになされた募金約100万円については、(公社)北海道海難防止・水難救済センターに移管した。

事業費総額 25,569,180円

#### 6 救難所員等の扶助・補償等に関する事業

公益財団法人日本財団からの助成金を受け、海難救助作業（海難救助訓練を含む。）において救難所員に災害が発生した場合などに、本人等に対し災害補償を行うための事業及び賞じゅつ金等を贈与する事業を実施しているが、令和4年度は、対象事案はなかった。

事業費総額 2,828,156円

## 7 その他

令和4年度において、各事業の活性化を促すため、次の活動を実施した。

### (1) 組織基盤の強化

組織基盤の強化等を図るため、二号正会員、賛助会員の積極勧誘を行い、令和4年度において、新たに二号正会員4者、賛助会員6者が加入した。

### (2) 救助出動報奨金に燃料代を付加

これまで、救助員が海難救助等に出動した際、使用した船舶の燃料代については支援ができていなかったため、救助員の重い負担となっていたが、日本財団からの助成の増額、全国漁業協同組合及び日本漁船保険組合からの補助の増額の協力を得て、令和5年度から、救助出動報奨金に実費相当の燃料代を付加することとした。

### (3) 日本ライフセービング協会との連携協定締結

当会と日本ライフセービング協会は、令和4年中において、沿岸海域における救助活動や安全啓発等の実態等について理解を深め、より安全で効果的な活動を行うための情報共有を進めてきた。その結果、沿岸部の安全確保の観点から、両組織がその活動を更に安全に効率的に実施し、かつ、救助員やライフセーバーの負担を軽減すること、また、これら取組を各組織の実態に応じ、地方ごとに可能な範囲で協力を進めることが有効と判断し、令和5年4月24日、連携協定を締結した。

### (4) 認知度向上のための働きかけ

#### ① メディアへの積極的な対応

令和4年4月に発生した知床観光船の沈没事故の発生を受け、メディアは連日これを報じたが、当会常務理事（当時）は、関連テレビ番組に合計50回出演し解説を行った。これを契機とし、夏場の水難事故についてのコメント、更には、12月の安保関連3文書の改訂に関連した番組や記事に解説やコメントが多数放映、掲載された。その際「日本水難救済会」が肩書として掲示され当会の知名度向上に大きく貢献することができた。

#### ② Twitter の開設

令和4年2月22日から当会の Twitter を開設し、水難救済会の活動状況等を都度掲載した。

#### ③ 大学団体での講義等

令和4年度において、当会理事長は、日本大学危機管理学部の非常勤講師としての「海上保安学」の講義や、日本体育大学保険医療学部主催の研究会での特別講演を行い、当会の概要や活動実績について説明を行い、認知度の向上を図った。



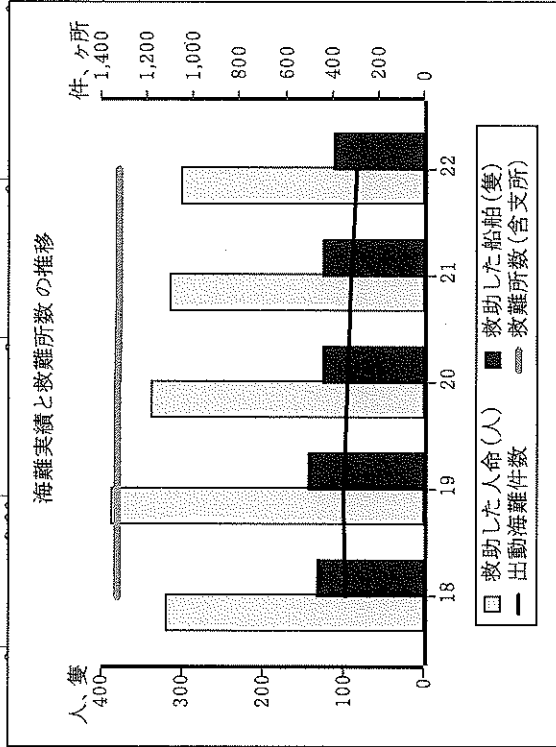
附 属 明 细 书 1

# 海難救助及び出動実績総括表

自 令和04年01月01日  
至 令和04年12月31日  
(単位:人、隻、トン、千円)

令和04年救助実績

要救助出動	救助区分	救助船舶			出動内容						
		隻数	総トン数	船体積荷見積価格	救助	不救助他	計	救難所員	救助船舶	協力者	協力船
船舶海難	一般船舶	1	0.30	0	2	1	3	107	26	68	0
	漁船	51	96.04	14,370	43	12	55	750	412	161	2
	プレジャーボート	67	50.66	10,270	95	6	101	432	192	222	4
	その他	0	0.00	0	0	2	2	2	2	0	0
船舶海難 計		111	147.00	24,620	140	21	161	1,291	632	451	6
人身事故	船上より落水(漁船・その他)	1			1	6	7	139	67	224	7
	陸岸より落水	30			27	13	40	157	50	5	1
	遊泳中	7			13	3	16	55	21	4	2
	潜水中	4			4	5	9	87	45	29	0
	サーフィン	2			5	1	6	26	4	2	0
	ボードセーリング	0			1	1	2	7	4	0	0
	水上オートバイ	0			1	0	1	1	1	0	0
	孤立	9			2	0	2	3	2	0	0
	負傷	4			3	0	3	7	3	0	0
	病気	1			2	0	2	8	5	1	0
その他	33			24	19	43	173	65	10	3	
人身事故 計		91			83	48	131	663	267	275	13
災害対応	緊急物資輸送	0			0	0	0	0	0	0	0
	被災者輸送	0			0	0	0	0	0	0	0
	救援要員輸送	0			0	0	0	0	0	0	0
	その他	0			0	0	0	0	0	0	0
災害対応 計		0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		301	147.00	24,620	223	69	292	1,954	899	726	19



附 属 明 细 书 2

# 救難所別海難救助実績

自 令和04年01月01日  
至 令和04年12月31日

(単位:名、隻、トン、千円、回)

水難救済会	救助区分 救難所	救助人命 数	救助船舶						出動内容											
			(種類)				総トン数	船体積荷見積価格			出動海難件数		救難所		協力					
			隻数	一般船舶	漁船	プレジャー		その他	船体	積荷	計	救助	不救助他	計	救難所員	救助船舶	協力者	協力船		
小樽地区	石狩	2	2			2	0.20						2	2	5	3				
	余市	3											2	2	3	2	7			
	泊												1	1	19	2				
	島牧村	1	1			1							1	1	9	2	1			
桧山地区	瀬棚	1	1			1							1	1	16	5				
	乙部	3											1	1	3	1				
函館地区	知内		1		1								1	1	21	10				
	木古内														7	4				
	樞法華	2	1			1							2	1	3	36	20	57	2	
	南茅部														75	41	93	1		
	鹿部	1													44	8	198	3		
	砂原														6	4	24	3		
	長万部	1	1			1							1	1	3	1				
室蘭地区	豊浦	1											2	1	3	10	5	1		
	虻田													1	1	7	1			
	有珠	1	1			1	3.20						1	1	8	2				
根室地区	標津														8	4	6			
	羅臼													1	1	38	34	83		
北見地区	斜里													1	1	51	11	95		
	北海道計	16	8		1	7	3.40						13	7	20	369	160	565	9	
青森県	小泊	2	1			1	0.40							1	1	2	2			
	計	2	1			1	0.40							1	1	2	2			
岩手県	宮古													1	1	103	23	68		
	大船渡													1	1	4	2	4	3	
	計													1	1	2	107	25	72	3
宮城県	十三浜	2												1	1	3	1			
	女川	1	1			1								1	1	1	1			
	計	3	1			1								2	2	4	2			
福島県	久之浜	3	2		2		6.60							1	1	6	2			
	計	3	2		2		6.60							1	1	6	2			
(特)秋田県	戸賀	1	2		2		1.64							2	2	17	10			
	象潟														1	1	4	3		
	計	1	2		2		1.64							2	1	3	21	13		
山形県	酒田	6	4			4								4	4	12	5			
	袖浦	1	1			1										4				
	加茂	1												1	1	1	1			
	由良													1	1	17	1			
	念珠閣	1	1		1									1	1	21	4			
	計	9	6		1	5								7	7	55	11			
茨城県	那珂湊支部	1												1	1	1	1			
	大洗支部	2												2	2	7	1	1		
	計	3												3	3	8	2	1		
千葉県	銚子市	4	1			1								2	2	5	2			
	九十九里町															5	1			
	夷隅東部	1	1		1		7.30	10,000		10,000			1	1	25	6				
	天羽	1	1			1								1	1	8	2			
	長生郡広域	1												3	2	5	31	3		
	木更津														3	3	12	5	2	
	計	7	3		1	2	7.30	10,000		10,000			7	5	12	86	19	2		
(特)神奈川県	鴨居	2	2	1		1	0.30							2	2	6	4			
	久里浜													1	1	3	1			
	小田原	4	1			1								3	3	4	3	1		
	真鶴		1			1									2	2	6	2		
	平塚	2												1	1	1	1			
	葉山	6												3	3	3	3			
	西神奈川広域													1	1	1	1	1		

# 救難所別海難救助実績

自 令和04年01月01日  
至 令和04年12月31日  
(単位:名、隻、トン、千円、回)

水難救済会	救助区分 救難所	救助人命 数	救助船舶						出動内容								
			(種類)				総トン数	船体積荷見積価格			出動海難件数			救難所		協力	
			隻数	一般船舶	漁船	プレジャー その他		船体	積荷	計	救助	不救助他	計	救難所員	救助船舶	協力者	協力船
	茅ヶ崎	1										1	1	3		2	
	計	15	4	1	3	0.30						12	2	14	27	15	4
伊豆地区	大熱海											1	1	2	1		
	伊東	1										5	3	8	28	12	
	稲取	1										1	1	2	1		
	下田	5	1		1							5	2	7	24	11	6
	計	7	1		1							12	5	17	56	25	6
静岡地区	相良	1										3	1	4	9	4	
	ICS	1	1		1							2	2	2	12	5	
	御前崎港の交番												1	1	6	2	
	静岡広域DRS	1										3	2	5	17		8
	USPR掛川														5	2	
	計	3	1		1							8	4	12	49	13	8
愛知県	蒲郡	3	1		1	0.50	1,000		1,000			2	2	3	2		
	伊勢湾中部地区海難救助連絡協議会	5	1		1	2.40						4	4	9	5		
	伊勢湾南部地区											1	1	6	2		
	計	8	2		2	2.90	1,000		1,000			7	7	18	9		
三重県	伊勢湾中部地区海難救助連絡協議会	4	2		2		150		150			7	1	8	23	13	1
	鳥羽-伊勢地区海難救助連絡協議会		1		1							1	2	3	40	17	1
	志摩県会地区海難救助連絡協議会	1	1		1							1	1	2	75	46	4
	紀南地区海難救助連絡協議会	3										4	2	6	12	8	
	計	8	4		2		150		150			13	6	19	150	84	6
和歌山県	紀南西部	1	1		1							1	1	2	74	45	
	紀南東部	1										1	1	4	1		
	熊野灘	3	1		1		300		300			1	1	2	15	3	
	計	5	2		2		300		300			3	2	5	93	49	
兵庫県	香住														1	1	
	柴山												1	1	6	2	
	計												1	1	7	3	
徳島県	鳴門	1	1		1	0.60	1,130	20	1,150			1	1	7	3		
	阿南	8										2	2	2	2		
	海部	1										1	1	2	5	2	
	計	10	1		1	0.60	1,130	20	1,150			4	1	5	14	7	
高知県	宿毛	2										1	1	2	2	1	
	安芸	2	1		1	4.00						1	1	1	1		
	高知中央	1	1		1	4.70						1	1	1	1		
	計	5	2		1	8.70						3	3	4	4	1	
岡山県	オパタマリーナ		1	1								1	1	1	1		
	牛久町漁業協同組合	1										2	2	4	2		
	小糸漁業協同組合		1				1						1	1	1	1	
	計	1	2	1		1						3	1	4	6	4	
広島県	広島横濱マリーナ	15	1		1							3	3	6	3		
	計	15	1		1							3	3	6	3		
山口県	仙崎	1										1	1	4	1		
	伊上	1										1	1	2	1		
	奈古											1	1	1	1		
	宇田郷	2												2	1		
	豊北町	7	2		2	10.00						2	1	3	14	6	
	下関吉母	3	1		1							1	1	2	1		
	下関六連島	1	1		1	1.97						1	1	3	2	1	
	下関伊崎												1	1	2	1	
	黄波戸	2	2		1	4.40						2	2	19	7		
	萩	1										1	1	1	1		
	秋穂浦		1		1								1	1	29	13	
	計	18	7		5	16.37						10	3	13	79	35	1
香川県	庵治	2	3		3	3.14						2	2	6	8	4	

# 救難所別海難救助実績

自 令和04年01月01日  
至 令和04年12月31日  
(単位:名、隻、トン、千円、回)

水難救済会	救助区分 救難所	救助人命 隻数	救助船舶							出動内容								
			(種類)				総トン数	船体積荷見積価格			出動海難件数			救難所		協力		
			一般船舶	漁船	プレジャー	その他		船体	積荷	計	救助	不救助他	計	救難所員	救助船舶	協力者	協力船	
	内海	2	2		1	1						1	1	2	48	10		
	四海														19	9		
	土庄中央														2	1		
	池田														2	2		
	計	4	5		1	4		3.14				3	1	4	77	30	4	
愛媛県	来島												1	1	2	1		
	菊間小松														3	1		
	計												1	1	5	2		
(公社)富岡系	神湊	13	1			1		4.55				2		2	16	3		
	津屋崎											1		1	5	1		
	地島											1		1	4	2		
	奈多	5	2			2						3		3	17	6		
	西浦											1		1	5	2		
	船越												1	1	10	4		
	深江														2	1		
	福吉											2	1	3	38	8		
	姫島	1	1			1						1		1	3	1		
	宇島		1		1			4.60				1		1	2	1		
	大川	4	2		2			4.85				1		1	3	2	2	
	平松	1	1		1			0.30				1		1	2	1		
	岐志新町		1		1								1	1	6	2	1	
	芥屋											1		1	5	1		
	大岳											1		1	2	1		
	計	24	9		5	4		14.30				16	3	19	120	36	3	
佐賀県	玄海上地区	1										4	1	5	11	6	1	
	玄海中地区												1	1	4	1	1	
	玄海下地区	1										1		1	2	2	3	
	有明東部地区		1		1			4.60				1		1	1	1	10	1
	計	2	1		1			4.60				6	2	8	18	10	15	1
(特)長崎県	稲佐	6	2		1	1		4.90	2,000	2,000		4		4	14	4		
	野母崎	8	4		1	3		7.30	6,500	6,500		7		7	37	9		
	五島	1	1		1			4.55	1,000	1,000		1		1	1	1		
	九十九島		1		1								1	1	20	82		
	小値賀町		1		1								1	1	3	2		
	佐世保市南部												1	1	2	2		
	大島村	15	3		1	2		19.70				4		4	11	6		
	口之津	4	2		2			0.90	570	570		2	1	3	5	5		
	橘湾中央	2	1			1						1		1	2	1		
	大瀬戸町		1		1			4.90				2		2	4	3		
	中野	1	1			1			20	20		1		1	1	1		
	計	37	17		9	8		42.25	10,090	10,090		22	4	26	100	116		
大分県	佐賀関	2	2			2		1.00				2		2	3	3		
	杵築											1		1	1	1		
	安岐	2	2		2			4.40				2		2	4	2		
	香々地	4	2			2		0.10	1,000	1,000		1	1	2	3	3		
	津久見	2										1		1	3	1		
	計	10	6		2	4		5.50	1,000	1,000		7	1	8	14	10		
京都府	マリンレスキュー-担野											1		1	1		1	1
	宮津・与謝											2		2	9	3	3	
	計											3		3	10	3	4	1
福井県	高浜水難	1	1			1			100	100		1		1	3	1		
	美浜	4	2		1	1						2	1	3	29	11		
	若狭町水難	2	1			1			200	200		1		1	3	2		
	小浜市水難	1										1		1	1	1	1	
	計	8	4		1	3			300	300		5	1	6	36	15	1	
鳥取県	マリーナ大栄	1	1		1			4.00				1		1	4	2		

# 救難所別海難救助実績

自 令和04年01月01日  
至 令和04年12月31日

(単位:名、隻、トン、千円、回)

水難救済会	救助区分 救難所	救助人命 隻数	救助船舶						出動内容									
			(種類)				総トン数	船体積荷見積価格			出動海難件数			救難所		協力		
			一般船舶	漁船	プレジャー	その他		船体	積荷	計	救助	不救助他	計	救難所員	救助船舶	協力者	協力船	
	鳥取市											1		1	1	1		
	湯梨浜町												1	1	2	1		
	計	1	1	1		4.00						2	1	3	7	4		
島根県	島根町	1											1	1	1		1	1
	惠曇												1	1	4	2		
	出雲	2	1		1							3	1	4	21	4		
	益田											1	1	2	2	2	1	
	魚瀬秋鹿												1	1	4	2		
	計	3	1		1							4	5	9	32	10	2	1
新潟県	山北												1	1	62	19		
	出雲崎	1	1		1							1		1	2	1		
	直江津	1	1	1		1.10	650		650			2		2	5	2	2	
	佐渡南部	1	1	1		1.10						1		1	3	2		
	姫津														10	5		
	高千		1	1									1	1	9	4		
	新潟五十嵐	2	1		1							1		1	1	1	2	
	計	5	5	3	2	2.20	650		650			5	2	7	92	34	4	
能登	珠洲	3	1		1							2		2	3	3	1	
	計	3	1		1							2		2	3	3	1	
鹿児島県	西之表市												1	1	30	23		
	知名												1	1	5	3	7	
	和泊														7	7	13	
	指宿市開闢											1		1	5	4	1	
	垂水市	1										1		1	5		1	
	指宿市	1	1		1							1		1	1	1		
	枕崎	15										1		1	9	3		
	南さつま市	3	2		2	2.70						2		2	4	2		
	計	20	3		3	2.70						6	2	8	66	43	22	
宮崎県	民間漁業協同組合	1	1	1								1		1	1	1		
	宮崎漁業協同組合												1	1	2	1		
	(廃止)平谷漁業協同組合	2										1		1	9	5		
	宮崎小型船舶安全協会														3	2		
	宮崎ライフセービングクラブ	2										1	1	2	6			
	計	5	1	1								3	2	5	21	9		
熊本県	有明											1		1	8	4	2	
	五和	9										2		2	28	7	4	1
	計	9										3		3	36	11	6	1
北部地区	国頭	13										4		4	19	10		
	計	13										4		4	19	10		
恩納地区	恩納	1											1	1	2	2		
	瀬良垣ビーチ												1	1	2	1		
	一般社団法人恩納村プレジャー協会	1										1		1	2			
	計	2										1	2	3	6	3		
中部地区	アラハビーチ	1										1		1	5	2		
	トリビカルビーチ												1	1	2	1		
	計	1										1	1	2	7	3		
那覇地区															1	1		
	計														1	1		
南部・大東地区	糸満	2	1	1								1		1	56	28		
	美々ビーチ	4	2		2	8.50						5	1	6	10	9		
	北大東	1										1		1	7	2		
	計	7	3	1	2	8.50						7	1	8	73	39		
西部地区	伊平屋	1	1		1							1		1	3	1		
	伊江											1		1	2	1		
	計	1	1		1							2		2	5	2		
金武・中城地区	勝連	1										1		1	8	4		

# 救難所別海難救助実績

自 令和04年01月01日  
至 令和04年12月31日

(単位:名、隻、トン、千円、回)

水難救済会	救助区分 救難所	救助人命 隻数	救助船舶					出動内容										
			(種類)				総トン数	船体積荷見積価格			出動海難件数			救難所		協力		
			隻数	一般船舶	漁船	プレジャー		その他	船体	積荷	計	救助	不救助他	計	救難所員	救助船舶	協力者	協力船
	沖縄市		1		1			6.60							2	1		
	計	1	1		1			6.60				1		1	10	5		
宮古島地区	宮古島	2	1		1			0.10				2		2	4	2		
	伊良部	3	1		1			4.90				2		2	20	10		
	計	5	2		2			5.00				4		4	24	12		
八重山地区	八重山	1										1		1	1	1		
	フサキビーチ												1	1	4			
	計	1										1	1	2	5	1		
	総合計	301	111	2	41	67	1	147.00	24,620	20	24,640	223	69	292	1,954	899	726	19